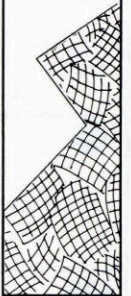


自治会の窓



我が町形成

殿村新開自治会

殿村自治会は町営の住宅で、仙崎湾に注ぐ三隅川河口に位置し、静かな環境の中にあります。全戸数73戸、うち持ち家一戸、人口は約230人弱で、老人世帯も何戸かあります。また若者世帯も沢山あり、浅田小学校でもトップの子供数となっています。

何しろ移動が多くて、自治会でも入居、転出がいつなのか判らなくて、役員さん、班長さんの御苦労も大変です。それでも皆で少しづつ協力し住みよい町づくりになしようと努力して居ります。

しかし、他の集落と違って、御先祖からの伝統も風習も行事など、古くからの定住者ではないので、他からの差別的なこともないとは言いきれません。



▲ 借り受けて進めている花壇

それはさておき、まず潤いのある環境面の整備からと、三隅町花いっぱい運動の一環として公用地の荒地を借り受けて、花壇と、畑として耕作して、花と緑で一杯にしようとみんなが努力しております。

第12・13回レク 講習会ご案内

とき 2月15日木
2月29日木
(いずれも午後7時から)

ところ トレセン研修室
内容 指導クリニック

もってくるもの
テキスト マイカップ

実践レク第2回目、ソング、ダンス指導に挑戦します。指導力は、豊かな経験が何よりです。がんばって挑戦しましょう。

(子ども向)

「わたしたちの涙で雪だるまが溶けたー子どもたちのチエルノブイリー」

梓書院

「わが町発見！絵地図づくりからまちづくりへ」

晶文社

世田谷まちづくりセンター

「カラダの本」

北村邦夫／講談社

新刊

図書紹介

(トレセン図書室から)

(おとな向)

「生命保険がわかる本」

中里まっち他／実務教育出版

「四万十川歩いて下る」

多田実／築地書館

「犠牲 サクリファイズ

わが息子・脳死の11日」

柳田邦男／文藝春秋

「黄落」

佐江衆一／新潮社ほか

町民文芸

俳句

清風句会

短歌

三隅短歌会

志士走る萩往還の寒椿

齊藤 元

寒椿沙騒を聞く島の宿

岡本 長一

東方に海一っぱいの大日の出

岩本さつき

寒椿おちて小猫の後ずさり

上田 雪子

寒椿生きたる竹の青によし

沖村美智子

若水を持ち行き父母の墓参り

木村 智子

若水を汲みて我が身の幸祈る

上利 花女

寒椿落ちて小川にうず巻けり

潮田うしほ

姿見に形正しく若井汲む

山城てる子

若水の茶柱の立つお座敷で

大谷 つね

生き甲斐に琴を音じめの春小袖

高崎はま子

選者追吟

古里は坂道ばかりの寒椿

富田佳津美

現し身の血管のごとく杉山を伝

い流るる谷川の水

石村 栄助

晩秋の長門映の水面にもみじの

散りて友禅模様

松野美津子

水の面に小さき泡を吹き上げて

はやの群れつつ澄む三隅川

古屋 博子

真清水の岩を滴りゆく水の大河

思わるこのひとしづく

立間 雅子

誕生日間近の母の八十年苦勞の

あれこれ笑顔で語る

河村 民子

春雪がゆるみて流れし川井戸に

あさひは照らして耀く水紋

岡本 長一

凍てる月は川面に砕け葎原をき

らめきつつも流れゆくかな

河野真理子

漸くに霧晴るるらし瀬戸海に碇

泊船のラスト見え初む

伊藤 一郎